

平成26年度

クリーニング師学科試験問題

受 験 番 号	
------------	--

指示があるまで開いてはいけません

—— 注 意 事 項 ——

- 1 この問題用紙には、衛生法規に関する知識、公衆衛生に関する知識、洗濯物の処理に関する知識の3科目の問題がとじ込んであります。3科目の試験時間は1時間30分です。
- 2 問題用紙は切り離さないで下さい。
- 3 答は問題用紙に明瞭に記入して下さい。
- 4 試験中は他の受験者に迷惑を及ぼす行為（話しかける、席を外す等）をしないこと。
- 5 試験中は、受験票を試験官並びに試験立会人の見やすい場所に置くこと。
- 6 答案を早めに提出した者は、他の受験者の迷惑にならないように試験場外にでること。
- 7 質問があるとき、また退出するときは、手をあげて試験官の来るのを待つこと。
- 8 試験開始後30分間は退場を認めないので注意すること。
- 9 一度退場したら再入場を認めないので注意すること。

沖 縄 県

平成26年度クリーニング師試験問題
(衛生法規に関する知識)

沖縄県

問1 次の文章のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を、()
に記入しなさい。

- 1 () クリーニング所の開設届を提出した営業者は、提出した翌日から
クリーニング所を使用することができる。
- 2 () クリーニング所の営業者は、クリーニング師でなくてもよい。
- 3 () 営業者は、洗たく物の受取及び引渡のみを行うクリーニング所ご
とに、1人以上のクリーニング師を置かなければならない。
- 4 () 施設の改修のようなやむを得ない場合は、届出したクリーニング
所以外の場所で洗たく物の処理を行うことができる。
- 5 () 溶剤として使用するトリクロロエチレン、テトラクロロエチレン
は、放置すると蒸発するので、側溝に流してもさしつかえない。
- 6 () Sマークとは、消費者がサービスを利用する際の選択の利便を図
るため、都道府県生活衛生営業指導センターが、その登録業務を行
っている「標準営業約款」の登録店のマークである。
- 7 () クリーニング所の床面積は、20平方メートル以上あれば、洗たく
物の取扱量に対応した面積でなくてもよい。
- 8 () 使用済みのおしぼりを回収し、洗たく後さらに貸与する営業いわ
ゆる貸しおしぼり業もクリーニング業である。
- 9 () クリーニングの「業」に該当するのは、それが社会性を持ち、反
復継続して行為が行われる場合であるが、無料であればクリーニン
グ業に該当しない。

問2 次のクリーニング業法に関する記述で、文中の〔 〕の中から正しいものを1つ選び、その記号を○で囲みなさい。

- 1 クリーニング業法は、クリーニング業に対して、主として〔 ア．環境衛生 イ．公衆衛生 〕等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もってその経営を〔 ア．公共の福祉 イ．公共の利益 〕に適合させることを目的とする。
- 2 クリーニング所を開設しようとする者は、厚生労働省令の定めるところにより、クリーニング所の位置、構造設備及び従事者数並びにクリーニング師の氏名その他必要な事項をあらかじめ〔 ア．厚生労働大臣 イ．都道府県知事 〕に届け出なければならない。
- 3 営業者は、洗たく物の受け取り及び引き渡しをするに際しては、利用者に対し、〔 ア．クリーニング師名 イ．苦情の申し出先 〕を明示しなければならない。
- 4 〔 ア．コインランドリー イ．リネンサプライ業 〕は、クリーニング業法に規定する「クリーニング業」ではない。

問3 次の記述で、文中の（ ）の中に下記の語群から正しいものを選び、その記号を記入しなさい。

- 1 クリーニング師は、その本籍又は氏名等を変更したときは、（ ）以内に、免許証の訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にしなければならない。
- 2 クリーニング師は免許証を破り、汚し、又は失ったときは、（ ）以内に免許を与えた都道府県知事に再交付の申請をしなければならない。
- 3 クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後（ ）以内に、都道府県知事が指定したクリーニング師の資質の向上を図るための研修を受けるものとし、その後は、（ ）を超えない期間ごとに研修を受けるものとする。
- 4 クリーニング所を開設しようとする者が、開設届出をせず、又は虚偽の届出をした場合、（ ）以下の罰金に処せられる。

【 語 群 】

ア． 3日 イ． 5日 ウ． 10日 エ． 2週間 オ． 1ヶ月
カ． 3ヶ月 キ． 1年 ク． 3年 ケ． 5年 コ． 10年
サ． 5千円 シ． 1万円 ス． 5万円

問4 次の洗たく物のうち、「他の洗たく物と区別しておき、洗たく前に消毒等しておかなければならない洗たく物」に該当するものには○印を、該当しないものには×印を（ ）の中に記入しなさい。

- 1 () ホテル・旅館等で宿泊者が使用した寝具
- 2 () 手ぬぐい、タオルその他これらに類するもの
- 3 () シミのついた汚れのひどい衣類
- 4 () おむつ・パンツその他これらに類するもの
- 5 () 伝染性疾病にかかっている者が使用したものとして引き渡されたもの

問5 次の記述で、文中の（ ）の中に下記の語群から正しいものを選び、その記号を記入しなさい。

- 1 クリーニング業とは溶剤又は（ ）を使用して、衣類その他の繊維製品又は皮革製品を原型のまま洗たくすることを営業とすることをいう。
- 2 クリーニング所の立入検査をする都道府県の職員を（ ）という。
- 3 洗い場においては、床が（ ）材料で築造され、これに適当なこう配と（ ）が設けられていなければならない。
- 4 営業者は、洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、業務用の機械として洗たく機及び（ ）をそれぞれ少なくとも（ ）備えなければならない。

【 語 群 】

- ア. 洗剤 イ. 脱色剤 ウ. 柔軟剤 エ. 環境衛生指導員
オ. 環境衛生取締員 カ. 環境衛生監視員 キ. 浸透性
ク. 不浸透性 ケ. 排水口 コ. 油分分離槽 サ. 乾燥機
シ. 脱水機 ス. 1台 セ. 2台以上

採 点

平成26年度クリーニング師学科試験問題
(公衆衛生に関する知識)

沖縄県

問1 次の文中の()の中に、下記の語群から正しいものを選び、その記号を記入しさい。

ウインスローの定義によれば、「公衆衛生とは、環境衛生の改善、()の予防、個人衛生の原則についての個人教育、疾病の()と治療のための医療と看護サービスの()、および地域社会の全ての人に、健康保持のための適切な()を保証する社会制度の発展のために、共同社会の組織的な努力を通じて、疾病を予防し、寿命を延長し、肉体的、()健康の能率の増進をはかる科学であり、技術である。」

【語群】

ア. 生活水準	イ. 精神的	ウ. 罹患	エ. 家族	オ. 早期診断
カ. 基本的	キ. 組織化	ク. 個別化	ケ. 災害	コ. 伝染病

問2 次の文は、指定洗濯物の一般的な消毒方法に関する記述である。文中の〔 〕の中から正しいものを1つ選び、その記号を○で囲みなさい。

- 1 80℃以上の熱湯に〔ア. 3 イ. 10 ウ. 30〕分以上浸すこと。
- 2 さらし粉、次亜塩素酸ナトリウム等を使用し、その遊離塩素濃度が〔ア. 50 イ. 150 ウ. 250〕ppm以上の液に30℃以上で〔ア. 5 イ. 10 ウ. 15〕分間以上浸すこと。
- 3 蒸気がま等を使用し、〔ア. 80 イ. 90 ウ. 100〕℃以上の湿熱しつねつに10分間以上触れさせること。
- 4 逆性石けん液、両性界面活性剤等の殺菌効果のある界面活性剤を使用し、その適正希釈水溶液中に30℃以上で〔ア. 30 イ. 60 ウ. 90〕分間以上浸すこと。

問3 次のA群と最も関係のあるものをB群から1つ選び、()の中にその記号を入しなさい。

〈 A群 〉

- 1 環境ホルモン ()
- 2 カンピロバクター ()
- 3 SARS ()
- 4 PM2.5 ()
- 5 WHO ()

〈 B群 〉

- ア. 外因性内分泌攪乱物質
- イ. 世界保健機構
- ウ. 大気汚染
- エ. 重症急性呼吸器症候群
- オ. 細菌性食中毒

問4 次の文章のうち正しいものには○印、誤っているものには×印を、()に記入しなさい。

- 1 () 一酸化炭素は、無色・無味・無臭であり、濃度によっては死に至ることもある。ガスの不完全燃焼も発生源になることから、燃焼の状態の確認は十分行う必要がある。
- 2 () クリーニング所で使用されたテトラクロロエチレンや石油系溶剤など含むゴミや廃油を処理するには、これらが特別管理産業廃棄物に分類されることから、特別管理産業廃棄物管理責任者を選任しなければならない。
- 3 () 水道法施行規則では「給水栓における水が、残留塩素で 10mg/L以上保持するように塩素消毒をすること。」と定められている。
- 4 () クリーニング所は、洗たく業の用に供する洗浄施設として、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の特定施設となり、届出、排水基準の遵守などの義務がある。
- 5 () 憲法では、すべての国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有することを規定している。

採	点

平成26年度クリーニング師学科試験問題
(洗濯物の処理に関する知識)

沖縄県

問1 次の文は、ランドリーについての記述です。()の中から正しいものを選び○をつけなさい。

- 1 洗たくの4条件は、水量、(ア.圧力 イ.速度 ウ.時間)、温度、洗剤である。
- 2 すすぎ行程では、溶解、懸濁^{けんたく}、分散している汚れや繊維くず石けんカスを洗い流す。すすぎ温度は、初回は(ア.洗濯温度よりも高く イ.洗濯温度よりも低く ウ.洗濯温度と同じに)し、2回目以降は常温でよい。
- 3 ランドリーは、ドライクリーニングで落ちにくい、(ア.脂溶性 イ.水溶性 ウ.好気性)の汚れやシミを落とすのに有効だが、衣類の型崩れや風合い変化が起きやすい。
- 4 洗たく(洗い)の水深度は、(ア.2 イ.4 ウ.6)度が適当である。
- 5 漂白剤のなかで、(ア.過酸化水素 イ.次亜塩素酸ナトリウム ウ.過ホウ酸ナトリウム)は、綿、麻等のセルロース系繊維に適し、絹、毛、ポリウレタン、染色物には使用できない。

問2 次の文中で、()の中から正しいものを選び○をつけなさい。

- 1 ドライ溶剤に適量の(ア.漂白剤 イ.酵素剤 ウ.ドライソープ)を添加して洗う方法をチャージシステムという。
- 2 ドライ溶剤中の油性汚れや不溶性汚れが、クリーニング中に洗濯物に付着するか吸着される状態を(ア.生洗い イ.再汚染 ウ.予洗)という。これは、不適切な荷分け、ドライソープ投入量不足、洗浄時間不足等によっておこる。
3. ウェットクリーニングは、ドライクリーニングで除去されにくい(ア.油性 イ.水溶性 ウ.好気性)の汚れやシミを除くために行う。温水でていねいに水洗いする方法である。
4. (ア.不溶性 イ.水溶性 ウ.油性)のシミは霧吹きで霧をかけると、生地よりもシミのほうが水分を早く吸収する。
- 5 シミ抜きの基本作用は、溶解作用、化学作用、酵素作用、潤滑作用があるが、酵素作用は、凝固した(ア.サビ イ.金属 ウ.タンパク質)汚れなどに分解酵素を作用させて水に溶ける汚れに変えて除去するものである。

問3 次の文のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を（ ）の中に記入しなさい。

- 1 () ホコリや煤煙^{ばいえん}は、主として空気中のちり成分中に含まれ、一般に有機溶剤にも水にも溶ける。
- 2 () カルシウムやマグネシウムなどの硬度成分が多い方が、洗濯用水として望ましい。
- 3 () 次亜塩素酸ナトリウムは、水温が高くなるほど漂白効果が上がるので、高温で使う。
- 4 () アクリルボタンは、熱に強いので直接アイロンにあててもよい。
- 5 () 毛皮は熱に弱いので、仕上げは裏地にのみアイロンをかける。
- 6 () 綿は、燃やすと毛髪を焼くにおいを放ち、灰色のやわらかい灰を少し残す。
- 7 () 糊付け剤には、デンプン糊、CMC、PVA等がある。
- 8 () リネンサプライのうち、病院寝具、貸しおしぼり、ダイアパーはそれぞれ個別に指導基準又は衛生基準が設けられ、消毒や洗濯方法が示されている。

問4 次の各繊維素材の標準的仕上げ温度について、右表の選択肢の中から正しいものを一つ選びその記号を記入しなさい。

- 1 毛 ()
- 2 ポリエステル ()
- 3 綿・麻 ()
- 4 絹 ()
- 5 ポリウレタン ()

<選択肢> ア. 60℃～70℃ イ. 100℃～120℃ ウ. 120℃～130℃ エ. 130℃～140℃ オ. 150℃～160℃ カ. 180℃～200℃

問5 次の文は、特殊なクリーニングについての記述です。()の中から正しいものを選び○をつけなさい。

- 1 毛皮のクリーニングには、(ア. ドライクリーニング イ. ウェットクリーニング
ウ. パウダークリーニング) が適している。
- 2 皮革のクリーニングの仕上げには、人体プレス機を使い、(ア. 60～70℃
イ. 80～90℃ ウ. 100～110℃) で蒸気量を少なめにして、短時間処理する。
- 3 丸洗いした和服の乾燥は、ハンガーに掛け立体乾燥で (ア. 40℃以下
イ. 50～60℃ ウ. 100℃以上) で行う。
- 4 和服のクリーニングは、(ア. 石油系溶剤 イ. アルカリ性洗剤 ウ. 酸性洗剤)
によるブラシ洗いに重点が置かれる。

採 点

平成26年度

クリーニング師学科試験問題

【解答】

受 験 番 号	
------------	--

指示があるまで開いてはいけません

—— 注 意 事 項 ——

- 1 この問題用紙には、衛生法規に関する知識、公衆衛生に関する知識、洗濯物の処理に関する知識の3科目の問題がとじ込んであります。3科目の試験時間は1時間30分です。
- 2 問題用紙は切り離さないで下さい。
- 3 答は問題用紙に明瞭に記入して下さい。
- 4 試験中は他の受験者に迷惑を及ぼす行為（話しかける、席を外す等）をしないこと。
- 5 試験中は、受験票を試験官並びに試験立会人の見やすい場所に置くこと。
- 6 答案を早めに提出した者は、他の受験者の迷惑にならないように試験場外にでること。
- 7 質問があるとき、また退出するときは、手をあげて試験官の来るのを待つこと。
- 8 試験開始後30分間は退場を認めないので注意すること。
- 9 一度退場したら再入場を認めないので注意すること。

沖 縄 県

平成26年度クリーニング師試験問題
(衛生法規に関する知識)

沖縄県

問1 次の文章のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を、()
に記入しなさい。

3点×9 = 27点

- 1 (×) クリーニング所の開設届を提出した営業者は、提出した翌日からクリーニング所を使用することができる。
- 2 (○) クリーニング所の営業者は、クリーニング師でなくてもよい。
- 3 (×) 営業者は、洗たく物の受取及び引渡のみを行うクリーニング所ごとに、1人以上のクリーニング師を置かなければならない。
- 4 (×) 施設の改修のようなやむを得ない場合は、届出したクリーニング所以外の場所で洗たく物の処理を行うことができる。
- 5 (×) 溶剤として使用するトリクロロエチレン、テトラクロロエチレンは、放置すると蒸発するので、側溝に流してもさしつかえない。
- 6 (○) Sマークとは、消費者がサービスを利用する際の選択の利便を図るため、都道府県生活衛生営業指導センターが、その登録業務を行っている「標準営業約款」の登録店のマークである。
- 7 (×) クリーニング所の床面積は、20平方メートル以上あれば、洗たく物の取扱量に対応した面積でなくてもよい。
- 8 (○) 使用済みのおしぼりを回収し、洗たく後さらに貸与する営業いわゆる貸おしぼり業もクリーニング業である。
- 9 (×) クリーニングの「業」に該当するのは、それが社会性を持ち、反復継続して行為が行われる場合であるが、無料であればクリーニング業に該当しない。

問2 次のクリーニング業法に関する記述で、文中の[]の中から正しいものを1つ選び、その記号を○で囲みなさい。

4点×5 = 20点

- 1 クリーニング業法は、クリーニング業に対して、主として[ア. 環境衛生 イ. 公衆衛生]等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もってその経営を[ア. 公共の福祉 イ. 公共の利益]に適合させることを目的とする。
- 2 クリーニング所を開設しようとする者は、厚生労働省令の定めるところにより、クリーニング所の位置、構造設備及び従事者数並びにクリーニング師の氏名その他必要な事項をあらかじめ[ア. 厚生労働大臣 イ. 都道府県知事]に届け出なければならない。
- 3 営業者は、洗たく物の受け取り及び引き渡しをするに際しては、利用者に対し、[ア. クリーニング師名 イ. 苦情の申し出先]を明示しなければならない。
- 4 [ア. コインランドリー イ. リネンサプライ業]は、クリーニング業法に規定する「クリーニング業」ではない。

問3 次の記述で、文中の()の中に下記の語群から正しいものを選び、その記号を記入しなさい。

3点×5 = 15点

- 1 クリーニング師は、その本籍又は氏名等を変更したときは、(ウ)以内に、免許証の訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にしなければならない。
- 2 クリーニング師は免許証を破り、汚し、又は失ったときは、(オ)以内に免許を与えた都道府県知事に再交付の申請をしなければならない。
- 3 クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後(キ)以内に、都道府県知事が指定したクリーニング師の資質の向上を図るための研修を受けるものとし、その後は、(ク)を超えない期間ごとに研修を受けるものとする。
- 4 クリーニング所を開設しようとする者が、開設届出をせず、又は虚偽の届出をした場合、(サ)以下の罰金に処せられる。

【 語 群 】

ア. 3日 イ. 5日 ウ. 10日 エ. 2週間 オ. 1ヶ月
カ. 3ヶ月 キ. 1年 ク. 3年 ケ. 5年 コ. 10年
サ. 5千円 シ. 1万円 ス. 5万円

問4 次の洗たく物のうち、「他の洗たく物と区別しておき、洗たく前に消毒等しておかなければならない洗たく物」に該当するものには○印を、該当しないものには×印を（ ）の中に記入しなさい。

4点×5＝20点

- 1 (×) ホテル・旅館等で宿泊者が使用した寝具
- 2 (○) 手ぬぐい、タオルその他これらに類するもの
- 3 (×) シミのついた汚れのひどい衣類
- 4 (○) おむつ・パンツその他これらに類するもの
- 5 (○) 伝染性疾病にかかっている者が使用したものとして引き渡されたもの

問5 次の記述で、文中の（ ）の中に下記の語群から正しいものを選び、その記号を記入しなさい。

3点×6＝18点

- 1 クリーニング業とは溶剤又は（ ア ）を使用して、衣類その他の繊維製品又は皮革製品を原型のまま洗たくすることを営業とすることをいう。
- 2 クリーニング所の立入検査をする都道府県の職員を（ カ ）という。
- 3 洗い場においては、床が（ ク ）材料で築造され、これに適当なこう配と（ ケ ）が設けられていなければならない。
- 4 営業者は、洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、業務用の機械として洗たく機及び（ シ ）をそれぞれ少なくとも（ ス ）備えなければならない。

【 語 群 】

- ア. 洗剤 イ. 脱色剤 ウ. 柔軟剤 エ. 環境衛生指導員
オ. 環境衛生取締員 カ. 環境衛生監視員 キ. 浸透性
ク. 不浸透性 ケ. 排水口 コ. 油分分離槽 サ. 乾燥機
シ. 脱水機 ス. 1台 セ. 2台以上

採 点

平成26年度クリーニング師学科試験問題
(公衆衛生に関する知識)

沖縄県

問1 次の文中の()の中に、下記の語群から正しいものを選び、その記号を記入しさい。

5点×5=25点

ウインスローの定義によれば、「公衆衛生とは、環境衛生の改善、(コ)の予防、個人衛生の原則についての個人教育、疾病の(オ)と治療のための医療と看護サービスの(キ)、および地域社会の全ての人に、健康保持のための適切な(ア)を保証する社会制度の発展のために、共同社会の組織的な努力を通じて、疾病を予防し、寿命を延長し、肉体的、(イ)健康の能率の増進をはかる科学であり、技術である。」

【語群】

ア. 生活水準	イ. 精神的	ウ. 罹患	エ. 家族	オ. 早期診断
カ. 基本的	キ. 組織化	ク. 個別化	ケ. 災害	コ. 伝染病

問2 次の文は、指定洗濯物の一般的な消毒方法に関する記述である。文中の〔 〕の中から正しいものを1つ選び、その記号を○で囲みなさい。

5点×5=25点

- 1 80℃以上の熱湯に〔ア. 3 **イ. 10** ウ. 30〕分以上浸すこと。
- 2 さらし粉、次亜塩素酸ナトリウム等を使用し、その遊離塩素濃度が〔ア. 50 イ. 150 **ウ. 250**〕ppm以上の液に30℃以上で〔**ア. 5** イ. 10 ウ. 15〕分間以上浸すこと。
- 3 蒸気がま等を使用し、〔ア. 80 イ. 90 **ウ. 100**〕℃以上の^{しつねっ}湿熱に10分間以上触れさせること。
- 4 逆性石けん液、両性界面活性剤等の殺菌効果のある界面活性剤を使用し、その適正希釈水溶液中に30℃以上で〔**ア. 30** イ. 60 ウ. 90〕分間以上浸すこと。

問3 次のA群と最も関係のあるものをB群から1つ選び、()の中にその記号を入しなさい。

5点×5問=25点

〈 A群 〉

- 1 環境ホルモン (ア)
- 2 カンピロバクター (オ)
- 3 SARS (エ)
- 4 PM2.5 (ウ)
- 5 WHO (イ)

〈 B群 〉

- ア. 外因性内分泌攪乱物質
- イ. 世界保健機構
- ウ. 大気汚染
- エ. 重症急性呼吸器症候群
- オ. 細菌性食中毒

問4 次の文章のうち正しいものには○印、誤っているものには×印を、()に記入しなさい。

5点×5=25点

- 1 (○) 一酸化炭素は、無色・無味・無臭であり、濃度によっては死に至ることもある。ガスの不完全燃焼も発生源になることから、燃焼の状態の確認は十分行う必要がある。
- 2 (○) クリーニング所で使用されたテトラクロロエチレンや石油系溶剤など含むゴミや廃油を処理するには、これらが特別管理産業廃棄物に分類されることから、特別管理産業廃棄物管理責任者を選任しなければならない。
- 3 (×) 水道法施行規則では「給水栓における水が、残留塩素で10mg/L以上保持するように塩素消毒をすること。」と定められている。
- 4 (×) クリーニング所は、洗たく業の用に供する洗浄施設として、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の特定施設となり、届出、排水基準の遵守などの義務がある。
- 5 (○) 憲法では、すべての国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有することを規定している。

採	点

平成26年度クリーニング師学科試験問題
(洗濯物の処理に関する知識)

沖縄県

問1 次の文は、ランドリーについての記述です。()の中から正しいものを選び○をつけなさい。
4点×5問=20

- 1 洗たくの4条件は、水量、(ア.圧力 イ.速度 ウ.時間)、温度、洗剤である。
- 2 すすぎ行程では、溶解、懸濁^{けんたく}、分散している汚れや繊維くず石けんカスを洗い流す。すすぎ温度は、初回は(ア.洗濯温度よりも高く イ.洗濯温度よりも低く ウ.洗濯温度と同じに)し、2回目以降は常温でよい。
- 3 ランドリーは、ドライクリーニングで落ちにくい、(ア.脂溶性 イ.水溶性 ウ.好気性)の汚れやシミを落とすのに有効だが、衣類の型崩れや風合い変化が起きやすい。
- 4 洗たく(洗い)の水深度は、(ア.2 イ.4 ウ.6)度が適当である。
- 5 漂白剤のなかで、(ア.過酸化水素 イ.次亜塩素酸ナトリウム ウ.過ホウ酸ナトリウム)は、綿、麻等のセルロース系繊維に適し、絹、毛、ポリウレタン、染色物には使用できない。

問2 次の文中で、()の中から正しいものを選び○をつけなさい。

4点×5問=20

- 1 ドライ溶剤に適量の(ア.漂白剤 イ.酵素剤 ウ.ドライソープ)を添加して洗う方法をチャージシステムという。
- 2 ドライ溶剤中の油性汚れや不溶性汚れが、クリーニング中に洗濯物に付着するか吸着される状態を(ア.生洗い イ.再汚染 ウ.予洗)という。これは、不適切な荷分け、ドライソープ投入量不足、洗浄時間不足等によっておこる。
3. ウェットクリーニングは、ドライクリーニングで除去されにくい(ア.油性 イ.水溶性 ウ.好気性)の汚れやシミを除くために行う。温水でていねいに水洗いする方法である。
4. (ア.不溶性 イ.水溶性 ウ.油性)のシミは霧吹きで霧をかけると、生地よりもシミのほうが水分を早く吸収する。
- 5 シミ抜きの基本作用は、溶解作用、化学作用、酵素作用、潤滑作用があるが、酵素作用は、凝固した(ア.サビ イ.金属 ウ.タンパク質)汚れなどに分解酵素を作用させて水に溶ける汚れに変えて除去するものである。

問3 次の文のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を（ ）の中に記入しなさい。

3点×8問=24

- 1 (×) ホコリや煤煙^{ばいえん}は、主として空気中のちり成分中に含まれ、一般に有機溶剤にも水にも溶ける。
- 2 (×) カルシウムやマグネシウムなどの硬度成分が多い方が、洗濯用水として望ましい。
- 3 (×) 次亜塩素酸ナトリウムは、水温が高くなるほど漂白効果が上がるので、高温で使う。
- 4 (×) アクリルボタンは、熱に強いので直接アイロンにあててもよい。
- 5 (○) 毛皮は熱に弱いので、仕上げは裏地にのみアイロンをかける。
- 6 (×) 綿は、燃やすと毛髪を焼くにおいを放ち、灰色のやわらかい灰を少し残す。
- 7 (○) 糊付け剤には、デンプン糊、CMC、PVA等がある。
- 8 (○) リネンサプライのうち、病院寝具、貸しおしぼり、ダイアパーはそれぞれ個別に指導基準又は衛生基準が設けられ、消毒や洗濯方法が示されている。

問4 次の各繊維素材の標準的仕上げ温度について、右表の選択肢の中から正しいものの一つを選びその記号を記入しなさい。

4点×5=20点

- 1 毛 (オ)
- 2 ポリエステル (ウ)
- 3 綿・麻 (カ)
- 4 絹 (エ)
- 5 ポリウレタン (ア)

<選択肢>
ア. 60℃～70℃
イ. 100℃～120℃
ウ. 120℃～130℃
エ. 130℃～140℃
オ. 150℃～160℃
カ. 180℃～200℃

問5 次の文は、特殊なクリーニングについての記述です。()の中から正しいものを選び○をつけなさい。 4点×4問=16

- 1 毛皮のクリーニングには、(ア. ドライクリーニング イ. ウェットクリーニング ウ. パウダークリーニング) が適している。
- 2 皮革のクリーニングの仕上げには、人体プレス機を使い、(ア. 60～70℃ イ. 80～90℃ ウ. 100～110℃) で蒸気量を少なめにして、短時間処理する。
- 3 丸洗いした和服の乾燥は、ハンガーに掛け立体乾燥で (ア. 40℃以下 イ. 50～60℃ ウ. 100℃以上) で行う。
- 4 和服のクリーニングは、(ア. 石油系溶剤 イ. アルカリ性洗剤 ウ. 酸性洗剤) によるブラシ洗いに重点が置かれる。

採 点

平成26年度

クリーニング師実地試験問題

受 験 番 号	
------------	--

指示があるまで開いてはいけません

—— 注 意 事 項 ——

- 1 この問題用紙には、溶剤管理と洗濯に関する知識の問題がとじ込んであります。試験時間は30分です。
- 2 問題用紙は切り離さないで下さい。
- 3 答は問題用紙に明瞭に記入して下さい。
- 4 試験中は他の受験者に迷惑を及ぼす行為（話しかける、席を外す等）をしないこと。
- 5 試験中は、受験票を試験官並びに試験立会人の見やすい場所に置くこと。
- 6 答案を早めに提出した者は、他の受験者の迷惑にならないように試験場外にでること。
- 7 質問があるとき、また退出するときは、手をあげて試験官の来るのを待つこと。
- 8 試験開始後10分間は退場を認めないので注意すること。
- 9 一度退場したら再入場を認めないので注意すること。

沖 縄 県

平成26年度クリーニング師実地試験問題
(溶剤管理及び洗濯に関する知識)

沖縄県

問1 次の文章のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を()の中に記入しなさい。

- 1 () ウールのセーターは伸びやすいがアクリルのセーターは縮みやすい。
- 2 () ランドリーでは、メタ珪酸^{けいさん}ナトリウムがアルカリ助剤として洗剤と併用される。
- 3 () 顔料プリントは、テトラクロロエチレン(パーク)によるドライクリーニングが安全でよい。
- 4 () 絹繊維のシミ抜きには、塩素系漂白剤が適している。

問2 次の問に対して正しい答えを一つ選びその記号を○印で囲みなさい。

- 1 ドライクリーニングで使用する活性炭の目的は、
ア 静電気の防止・抑制をする。
イ 脂肪酸を取る。
ウ 溶剤の温度を保つ。
- 2 白い洗たく物に、酸化漂白と還元漂白の両方を使いたいとき、
ア 酸化漂白を先にする。
イ 還元漂白を先にする。
ウ 両方を同時にする。
- 3 テトラクロロエチレンは主に、
ア オゾン層を破壊する。
イ 温室効果ガスである。
ウ 地下水を汚染する。
- 4 ドライクリーニングの溶液の酸価は、
ア 高い方がよい。
イ 高い低いは関係ない。
ウ 低い方がよい。

問3 次のA群と最も関係のあるものをB群から一つ選び、その記号を（ ）の中に記入
 下さい。

1 <A群>

- () ドライ溶剤
- () 酸化漂白剤
- () ろ過助剤

<B群>

- ア テトラクロロエチレン
- イ ハイドロサルファイト
- ウ 次亜塩素酸ナトリウム
- エ 珪藻土^{けいそうど}

2 <A群> (シミの種類)

- () ペンキ
- () 鉄さび
- () 付着後、日数を経た血液

<B群> (シミ抜き方法)

- ア タンパク質分解酵素
- イ ベンジン
- ウ 高級アルコール系洗剤
- エ フッ化水素

問4 次の文は有機溶剤に関する記述です。文中の（ ）の中に下記の語群から正しい
 ものを選び、その記号を記入下さい。

- 1 石油系溶剤が残留しやすい衣類としては、() 製品等があり、化学やけど（皮膚障害）を防ぐために、十分な乾燥が必要である。
- 2 溶剤管理とは () 防止と () 向上のために、ドライ溶剤を浄化し、() を適正に維持することをいう。
 ドライ溶剤の浄化の方法としては、() や脱酸剤を用いる方法がある。

【語 群】

- ア. ポリエステル
- イ. 合成皮革
- ウ. 乾燥
- エ. 洗浄力
- オ. 通気性
- カ. ソープ濃度
- キ. 再汚染
- ク. 塩濃度
- ケ. 蒸留
- コ. 漂白

採 点

平成26年度

クリーニング師実地試験問題

【解答】

受 験 番 号	
------------	--

指示があるまで開いてはいけません

—— 注 意 事 項 ——

- 1 この問題用紙には、溶剤管理と洗濯に関する知識の問題がとじ込んであります。試験時間は30分です。
- 2 問題用紙は切り離さないで下さい。
- 3 答は問題用紙に明瞭に記入して下さい。
- 4 試験中は他の受験者に迷惑を及ぼす行為（話しかける、席を外す等）をしないこと。
- 5 試験中は、受験票を試験官並びに試験立会人の見やすい場所に置くこと。
- 6 答案を早めに提出した者は、他の受験者の迷惑にならないように試験場外にでること。
- 7 質問があるとき、また退出するときは、手をあげて試験官の来るのを待つこと。
- 8 試験開始後10分間は退場を認めないので注意すること。
- 9 一度退場したら再入場を認めないので注意すること。

沖 縄 県

平成26年度クリーニング師実地試験問題
(溶剤管理及び洗濯に関する知識)

沖縄県

問1 次の文章のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を()の中に記入しなさい。

1点×4問=4点

- 1 (×) ウールのセーターは伸びやすいがアクリルのセーターは縮みやすい。
- 2 (○) ランドリーでは、メタ珪酸^{けいさん}ナトリウムがアルカリ助剤として洗剤と併用される。
- 3 (×) 顔料プリントは、テトラクロロエチレン(パーク)によるドライクリーニングが安全でよい。
- 4 (×) 絹繊維のシミ抜きには、塩素系漂白剤が適している。

問2 次の問に対して正しい答えを一つ選びその記号を○印で囲みなさい。

1点×4問=4点

- 1 ドライクリーニングで使用する活性炭の目的は、
ア 静電気の防止・抑制をする。
 イ 脂肪酸を取る。
ウ 溶剤の温度を保つ。
- 2 白い洗たく物に、酸化漂白と還元漂白の両方を使いたいとき、
 ア 酸化漂白を先にする。
イ 還元漂白を先にする。
ウ 両方を同時にする。
- 3 テトラクロロエチレンは主に、
ア オゾン層を破壊する。
イ 温室効果ガスである。
 ウ 地下水を汚染する。
- 4 ドライクリーニングの溶液の酸価は、
ア 高い方がよい。
イ 高い低いは関係ない。
 ウ 低い方がよい。

問3 次のA群と最も関係のあるものをB群から一つ選び、その記号を（ ）の中に記入
 下さい。 2点×6問=12点

- | | |
|---|--|
| 1 <A群>
(ア) ドライ溶剤
(ウ) 酸化漂白剤
(エ) ろ過助剤 | <B群>
ア テトラクロロエチレン
イ ハイドロサルファイト
ウ 次亜塩素酸ナトリウム
エ 珪藻土 ^{けいそうど} |
|---|--|

- | | |
|--|---|
| 2 <A群> (シミの種類)
(イ) ペンキ
(エ) 鉄さび
(ア) 付着後、日数を経た血液 | <B群> (シミ抜き方法)
ア タンパク質分解酵素
イ ベンジン
ウ 高級アルコール系洗剤
エ フッ化水素 |
|--|---|

問4 次の文は有機溶剤に関する記述です。文中の（ ）の中に下記の語群から正しい
 ものを選び、その記号を記入下さい。 2点×5問=10点

- 1 石油系溶剤が残留しやすい衣類としては、(**イ**) 製品等があり、化学やけど(皮膚障害)を防ぐために、十分な乾燥が必要である。
- 2 溶剤管理とは(**キ**)防止と(**エ**)向上のために、ドライ溶剤を浄化し、(**カ**)を適正に維持することをいう。
 ドライ溶剤の浄化の方法としては、(**ケ**)や脱酸剤を用いる方法がある。

【語群】

ア. ポリエステル	イ. 合成皮革	ウ. 乾燥	エ. 洗浄力
オ. 通気性	カ. ソープ濃度	キ. 再汚染	ク. 塩濃度
ケ. 蒸留	コ. 漂白		

採点